

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	市民協働のまちづくり推進事業		担当部署	市民環境部 市民協働推進課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市自治基本条例 市民との協働のまちづくり行政行動 指針	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり	事業 期間	開始	平成 23 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期
(小項目)		市民参画・市民協働			
施策	1	市民参画・市民協働の推進			
基本事業	3	協働によるまちづくりの推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民等、行政														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	自治基本条例に掲げる市民が主役のまちづくりの実現に向けて、市民等と市が、適切な役割分担のもと、互いに補い合いながら協働事業に取り組む。														
事業計画	28年度に何を計画していたか	①広報等を通じ、自治基本条例や協働のまちづくりについて、周知啓発を継続するとともに、市民協働推進本部会議を開催することにより、協働が拡充していくための全庁的な環境整備に努める。②「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」を一部見直すことにより、主体的にまちづくり活動に取り組む団体の活動促進と経済的自立に向けた支援を引き続き行う。③NPO法人の設立・運営等の相談に引き続き対応しながら、市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくり」コーナーを通じて、まちづくりに関する情報の集約をするとともに情報発信を強化し、市民の主体的なまちづくり活動をサポートする。④地区自治振興会と協働による、まちづくり・飛び込み型出前市長室の開催を継続することで、市内で活動する団体等を把握し、コミュニティ活動の新たな担い手となる人材の発掘・育成につなげる。⑤市公式ウェブサイトの市民協働のまちづくり内に開設した地域デビュー支援ページにおいて、各種団体等の情報提供を行い、市民活動の支援を行う。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民等との協働事業数</td> <td>130</td> <td>140</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>150</td> <td>事業</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	市民等との協働事業数	130	140	150	150	150	事業
指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位										
市民等との協働事業数	130	140	150	150	150	事業										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①市民協働推進本部会議及びワーキンググループを開催し、より効率的・効果的な職場内研修の実施内容等について検討した。②「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」について、新たに行政提案型部門を創設し、市と市民活動団体が協働で事業を実施し、地域の課題解決につなげていけるよう支援を行った。③NPO法人の設立・運営等の相談に引き続き対応しながら、市公式ウェブサイト内「市民協働のまちづくり」コーナーを通じて、まちづくりに関する情報の集約をするとともに情報発信を強化し、市民の主体的なまちづくり活動のサポートを行った。④市公式ウェブサイトに加え、フェイスブックも活用し、協働のまちづくりに関する情報発信を強化し、市民の主体的なまちづくり活動を支援した。⑤改訂した子ども向け自治基本条例パンフレットを市内小学校に配布し、今後のまちづくりの担い手となる子どもたちの条例に対する理解を深めた。⑥地域デビューの促進を図るため、市公式ウェブサイトにおいて各種団体等の情報を掲載するとともに、地域デビュー手引書を作成し、周知に努めた。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	市民協働のまちづくりウェブサイト更新回数	83	55	70	70	70	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	市民等との協働事業数		146	159	—	—	—	事業
	目標達成率(実績/目標)			113.6	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり				

(千円)

財源内訳	平成28年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	2,500	838	3,338	
		補正予算額	0	0	0	0	0	0	
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0	
		全体予算額	0	0	0	2,500	838	3,338	
		決算額	0	0	0	2,222	926	3,148	
		繰越額	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費			
		1.2	0.3	9,173	12,321				

【鳴門市行政評価】

【事務事業名：市民協働のまちづくり推進事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	1,691	3,148	5,696	4,840	3,840
	うち一般財源	575	926	1,196	1,196	696
	人件費	8,852	9,173	9,173	9,173	9,173
	総事業費	10,543	12,321	14,869	14,013	13,013

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	広報やウェブサイトによる情報発信を行っているが、さらなる発信の強化ができると思われる。
	効率性	A:効率的だった	事務処理に関して、改善の余地は少ないと思われる。
②成果に対する評価	指標名	市民等との協働事業数	
	目標	140	事業
	実績	159	事業
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	協働事業数は目標値を超えたが、自治基本条例の理念が十分に浸透しているとはいえないことから、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	自治基本条例の理念の浸透を図るため、引き続き周知啓発を行うとともに、職員研修の充実を図るなど職員の意識改革必要である。 「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」については、より地域の課題解決につながるよう制度の見直しも含め検討していく。 地域デビュー支援ページを随時更新し情報提供に努めるほか、地域デビュー手引書を活用しながら広く周知を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	①市民協働推進本部会議等を開催することにより、協働のまちづくりが拡充していくための環境整備に努める。 ②「WeLoveなるとまちづくり活動応援補助金」については、引き続き「行政提案型部門」を設定、市制施行70周年の年でもあることから「市制施行70周年を市民協働で祝おう！」をテーマに設定し、主体的にまちづくり活動に取り組む団体の活動促進と経済的自立的に向けた支援を行う。③市公式ウェブサイトや地域デビュー手引書を活用し、シニア世代の地域デビューの促進を図る。			
	H30年度	平成29年度と同様			